

Product Profile | 株式

Russell Top 500 Index: 世界を牽引する 米国銘柄の パフォーマンスを 正確に反映

2024年4月



**FTSE
RUSSELL**
An LSEG Business

著者

Catherine Yoshimoto

Director,
Product Management

catherine.yoshimoto@lseg.com

広瀬健

インデックス投資部門日本代表

ken.hirose@lseg.com

概要

米国の株式市場は、世界の市場の中でも最大の規模を誇ります。¹ Apple、Microsoft、Amazon.com、Tesla、Metaをはじめ、米国内外で製品やサービスを提供する巨大企業が名を連ねています。米国株式インデックスには、米国経済のダイナミズムを正確に反映することが求められるため、定期的な銘柄追加や指数のリバランスを必要としますが、これにより、米国だけでなく世界経済をリードする革新的企業への投資機会を捉えることが可能となります。

Russell 米国株インデックスは1984年、FTSE Russellの革新的な発想から生まれました。顧客のニーズに応える実用的なインデックス・ソリューションを提供すべく、Russellは当時最も広く採用されていたS&P 500に対抗するかたちで、投資可能な米国株式をカバーした、客観的でルールに基づくベンチマークを発表しました。それこそが、Russell 1000[®]、Russell 2000[®]、Russell 3000[®]というモジュール方式のインデックスです。現在、Russell 米国株インデックスは機関投資家に選ばれるベンチマークに成長し、約9兆ドルの運用資産がベンチマークとして採用しています。²

過去40年にわたり、Russell 米国株インデックスは他の指数をリードしてきました。

- 他の米国株インデックスより10年も早く、将来の値上がり銘柄を組み入れ
- 浮動株調整のメソドロジー、時価総額別のモジュール方式を取り入れた初の株式インデックス (1984年～)
- グロースおよびバリュー・スタイルのセグメントを初めて導入 (1987年～)
- インデックスの利便性を向上させるためにメソドロジーを定期的に改善

¹ 2024年3月29日現在、[FTSE Global All Cap Index](#) (49の先進国および新興国市場の大・中・小型株で構成されるFTSE Russellのベンチマーク)の構成銘柄の中で米国株式が占める割合は62%超。なお、世界2位である日本株式の同日におけるウェイトは6.3%です。

² 2023年4月1日に公表された2022年12月31日時点のeVestment (機関投資家向け資産)、Morningstar (個人投資家向け投資信託、保険商品、ETF)、その他FTSE Russellがとりまとめたパッシブ資産のデータ。運用資産残高のデータには合成ベンチマークが含まれ、先物やオプションは除外されています。運用資産残高のデータには、第三者機関やFTSE Russellに未報告のアクティブおよびパッシブ運用資産は含まれていません。2022年12月31日時点で運用資産残高が未報告のファンドには、推定値として前期の実績が用いられています。FTSE Russellはデータの正確性について保証するものではありません。

目次

Russell Top 500 Index	4
新規上場後、数ヵ月から数年の間、好業績を収めた米国企業の例.....	4
ベンチマーク構築における3つの原則	5
インデックスのメソドロジー比較.....	6

Russell Top 500 Index

[Russell Top 500 Index \(英語\)](#)³ の大きな特長は、S&P 500 と異なり、米国株式市場の時価総額上位 500 銘柄で実際に構成されているという点です。四半期ごと (3 月、9 月、12 月) に新規公開株 (IPO) の追加を検討し、年に一度 (6 月)、完全な銘柄入替を実施することにより、Russell Top 500 は世界経済を牽引する米国の主要企業をタイムリーに組み込んでいます。⁴

新規上場後、数ヵ月から数年の間、好業績を収めた米国企業の例

以下の表は、Russell Top 500 が S&P 500 に先駆けて組み入れた銘柄の例です。Russell Top 500 では新規上場銘柄であっても時価総額で上位 500 に達した時点で速やかに組み入れられますが、S&P 500 では委員会が定める収益性要件を満たしていないという理由で組み入れ対象から長らく除外されていました。結果として、Russell Top 500 ではこれらの銘柄の好パフォーマンスが迅速に取り込まれた一方、S&P500 では折角の投資機会が投資家に迅速に提供されませんでした。

表 1. インデックスへの組み入れ時期の違い — Russell Top 500 対 S&P 500

会社名	IPO 上場年月	Russell 500 への追加 (A)	S&P 500 への追加 (B*)	A と B* の期間差	A から B* の期間における株式の累積トータル・リターン (%)
Apple	1980 年 12 月	1981 年 3 月	1982 年 11 月	1 年 8 ヶ月	30%
Microsoft	1986 年 3 月	1986 年 12 月	1994 年 6 月	7 年 6 ヶ月	1,826%
Starbucks	1992 年 6 月	1998 年 6 月	2000 年 6 月	2 年	82%
Amazon.com	1997 年 5 月	1999 年 6 月	2005 年 11 月	6 年 5 ヶ月	-23%
Nvidia	1999 年 1 月	2001 年 6 月	2001 年 11 月	5 ヶ月	18%
Netflix	2002 年 5 月	2010 年 6 月	2010 年 12 月	6 ヶ月	62%
Alphabet (Google)	2004 年 8 月	2004 年 9 月	2006 年 3 月	1 年 6 ヶ月	201%
Tesla	2013 年 6 月	2013 年 6 月	2020 年 12 月	7 年 6 ヶ月	2,528%
Meta Platforms Inc (Facebook)	2012 年 5 月	2012 年 6 月	2013 年 12 月	1 年 6 ヶ月	76%
Lululemon Athletica	2007 年 7 月	2018 年 6 月	2023 年 10 月	5 年 4 ヶ月	215%

出所: FTSE Russell および LSEG Workspace (2023 年 12 月時点のデータ) 過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。重要開示事項については、本資料の末尾をご覧ください。

³ 2015 年 11 月 18 日より Russell Top 500 Index の算出を開始。2002 年 8 月 1 日以降のバックテスト・パフォーマンスも利用可能です。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。重要開示事項については、本資料の末尾をご覧ください。

⁴ 米国株インデックスは、1978 ~ 1987 年は四半期ごと、1987 ~ 1989 年は年 2 回 (6 月と 12 月)、1989 年以降は年 1 回 (6 月) の銘柄入替を実施。また、2004 年 9 月以降、四半期ごとに IPO の組み入れを導入しています。 [米国経済の真のダイナミズムを捉える](#)

以下の表は、インデックスへの組み入れ時期の違いによるパフォーマンスの差異を示したものです。

表2. インデックス・パフォーマンスの年推移比較

米ドル建て トータル・リターン (%)	Russell Top 500	S&P 500	パフォーマンス差
2013年	32.85	32.39	0.46
2014年	13.82	13.69	0.13
2015年	1.24	1.38	-0.14
2016年	11.76	11.96	-0.20
2017年	22.04	21.83	0.21
2018年	-4.30	-4.38	0.08
2019年	31.63	31.49	0.15
2020年	21.15	18.40	2.75
2021年	27.01	28.71	-1.70
2022年	-19.34	-18.11	-1.23
2023年	27.30	26.29	1.01

出所：FTSE Russell および LSEG Workspace (2023年12月31日時点のデータ) 過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。重要開示事項については、本資料の末尾をご覧ください。

ベンチマーク構築における3つの原則

今日まで数多くのインデックスが市場に登場しています。しかし、ベンチマークには米国経済の革新と進化を正確に反映させるべきであり、成長の初期段階でまだ収益化に至っていないような新興企業もタイムリーに組み入れていく必要があります。

Russell 米国株インデックスはベンチマーク構築の中核となる原則として、1) 客観的手法に基づいた組成、2) モジュール性のある市場セグメンテーション、3) 信頼性の高いメンテナンスとガバナンスの3原則を念頭に置き設計されています。市場または市場セグメントを効果的に反映したインデックスを構築するうえで、これらの原則は不可欠です。インデックスがこれらの原則に基づいていない場合、連動するポートフォリオにおいて、意図した市場エクスポージャーやリスク/リターン特性が崩れる可能性があります。インデックス・ユーザーがベンチマークを選定する際には、誤った投資判断や予期せぬ結果を避けるためにこの点を考慮しなければなりません。

また、Russell 米国株インデックスの組み入れルールを確認しておくことも重要です。すべての米国上場株式が組み入れの対象というわけではなく、最低限のインデックス適格性ルールを満たすことが求められます(規則の全文については[インデックス基本ルール \(英語\)](#)、概要については[Xソドロロジー概要 \(英語\)](#)をご覧ください)。

⁵ より優れた米国株式ベンチマークの構築Russell 米国株インデックス | LSEG (英語)

インデックスのメソドロジー比較

表3. ベンチマーク構築手法の違い - Russell Top 500 対 S&P 500

	Russell Top 500	S&P 500
カバー対象	市場全般をカバーするRussell 3000E Indexの年次銘柄入替時における時価総額上位500銘柄	大型株を代表するS&P Composite 1500 Indexの構成銘柄
銘柄入替	<ul style="list-style-type: none"> 毎年6月の第4金曜日に銘柄の完全入替を実施 ランキング日時点の時価総額に応じて全適格銘柄を順位付け 上位1～500銘柄に順位付けされた銘柄を組み入れ ブレイクポイントから±2.5%の範囲で調整を行うことにより入替率を緩和 	<ul style="list-style-type: none"> 年次または半年ごとに実施される定期的な入替プロセスはなし 委員会の決定により必要に応じて変更。3営業日未満の通知期間を置いて変更される場合あり 標準の適格基準すべてに合致しなくても銘柄がS&P600または400から移行する場合あり
時価総額レンジ	<ul style="list-style-type: none"> 時価総額のブレイクポイントは年次銘柄入替時に変更 2023年の時価総額レンジ: 123億～2兆6,847億ドル(調整域を含めると下限は95億ドル) 	<ul style="list-style-type: none"> 時価総額レンジは適宜見直し 大型株の時価総額レンジ: 127億ドル以上
新規組入銘柄の適格基準	<ul style="list-style-type: none"> 米国企業(設立国、本社、流動性の高い米国証券取引所への上場を考慮) 直近の銘柄入替時点で、時価総額がRussell Top 500の時価総額レンジ内 浮動株数または市場で取引可能な株式数が5%を超えている 議決権の5%超を制限のない株主が保有 直近の銘柄入替時において、新たな株式クラスの平均日次ドル取引高がグローバル中央値より大きい 	<ul style="list-style-type: none"> 年次報告書10-Kに基づく米国企業であり、適格な米国取引所に「プライマリー上場」しており、米国における資産/収益が50%を超えている 直近の四半期を含む4四半期で連続して黒字を計上している 投資可能ウェイト・ファクターが0.10以上 トラッキング・ストックは不適格 浮動時価総額に対する日次取引高の比率(コンポジット・プライシングと取引高に基づく)が0.75以上であり、評価日前の半年間の各月の取引高が25万株以上の銘柄 セクター・バランスがS&P Total Market Indexに準拠している 議決権に関する制限なし 現在の構成銘柄には最小要件なし
新規公開株(IPO)	四半期ごとに適格IPOを追加	定期的なIPO追加プロセスなしIPOが適格銘柄とされるには、上場後12ヵ月経過している必要がある

出所: FTSE Russell、S&P (<https://us.spindices.com/>)。2023年4月時点のデータ。

ABOUT FTSE RUSSELL

FTSE Russell is a leading global provider of index and benchmark solutions, spanning diverse asset classes and investment objectives. As a trusted investment partner we help investors make better-informed investment decisions, manage risk, and seize opportunities.

Market participants look to us for our expertise in developing and managing global index solutions across asset classes. Asset owners, asset managers, ETF providers and investment banks choose FTSE Russell solutions to benchmark their investment performance and create investment funds, ETFs, structured products, and index-based derivatives. Our clients use our solutions for asset allocation, investment strategy analysis and risk management, and value us for our robust governance process and operational integrity.

For over 35 years we have been at the forefront of driving change for the investor, always innovating to shape the next generation of benchmarks and investment solutions that open up new opportunities for the global investment community.

CONTACT US

To learn more, visit lseg.com/ftse-russell; email info@ftserussell.com; or call your regional Client Service team office:

EMEA +44 (0) 20 7866 1810

North America +1 877 503 6437

Asia-Pacific

Hong Kong +852 2164 3333

Tokyo +81 3 6441 1430

Sydney +61 (0) 2 7228 5659

Disclaimer

© 2024 London Stock Exchange Group plc and its applicable group undertakings ("LSEG"). LSEG includes (1) FTSE International Limited ("FTSE"), (2) Frank Russell Company ("Russell"), (3) FTSE Global Debt Capital Markets Inc. and FTSE Global Debt Capital Markets Limited (together, "FTSE Canada"), (4) FTSE Fixed Income Europe Limited ("FTSE FI Europe"), (5) FTSE Fixed Income LLC ("FTSE FI"), (6) FTSE (Beijing) Consulting Limited ("WOFE") (7) Refinitiv Benchmark Services (UK) Limited ("RBSL"), (8) Refinitiv Limited ("RL") and (9) Beyond Ratings S.A.S. ("BR"). All rights reserved.

FTSE Russell® is a trading name of FTSE, Russell, FTSE Canada, FTSE FI, FTSE FI Europe, WOFE, RBSL, RL, and BR. "FTSE®" "Russell®", "FTSE Russell®", "FTSE4Good®", "ICB®", "Refinitiv", "Beyond Ratings®", "WMRTM", "FRTM" and all other trademarks and service marks used herein (whether registered or unregistered) are trademarks and/or service marks owned or licensed by the applicable member of LSEG or their respective licensors and are owned, or used under licence, by FTSE, Russell, FTSE Canada, FTSE FI, FTSE FI Europe, WOFE, RBSL, RL or BR. FTSE International Limited is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority as a benchmark administrator. Refinitiv Benchmark Services (UK) Limited is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority as a benchmark administrator.

All information is provided for information purposes only. All information and data contained in this publication is obtained by LSEG, from sources believed by it to be accurate and reliable. Because of the possibility of human and mechanical inaccuracy as well as other factors, however, such information and data is provided "as is" without warranty of any kind. No member of LSEG nor their respective directors, officers, employees, partners or licensors make any claim, prediction, warranty or representation whatsoever, expressly or impliedly, either as to the accuracy, timeliness, completeness, merchantability of any information or LSEG Products, or of results to be obtained from the use of LSEG products, including but not limited to indices, rates, data and analytics, or the fitness or suitability of the LSEG products for any particular purpose to which they might be put. The user of the information assumes the entire risk of any use it may make or permit to be made of the information.

No responsibility or liability can be accepted by any member of LSEG nor their respective directors, officers, employees, partners or licensors for (a) any loss or damage in whole or in part caused by, resulting from, or relating to any inaccuracy (negligent or otherwise) or other circumstance involved in procuring, collecting, compiling, interpreting, analysing, editing, transcribing, transmitting, communicating or delivering any such information or data or from use of this document or links to this document or (b) any direct, indirect, special, consequential or incidental damages whatsoever, even if any member of LSEG is advised in advance of the possibility of such damages, resulting from the use of, or inability to use, such information.

No member of LSEG nor their respective directors, officers, employees, partners or licensors provide investment advice and nothing in this document should be taken as constituting financial or investment advice. No member of LSEG nor their respective directors, officers, employees, partners or licensors make any representation regarding the advisability of investing in any asset or whether such investment creates any legal or compliance risks for the investor. A decision to invest in any such asset should not be made in reliance on any information herein. Indices and rates cannot be invested in directly. Inclusion of an asset in an index or rate is not a recommendation to buy, sell or hold that asset nor confirmation that any particular investor may lawfully buy, sell or hold the asset or an index or rate containing the asset. The general information contained in this publication should not be acted upon without obtaining specific legal, tax, and investment advice from a licensed professional.

Past performance is no guarantee of future results. Charts and graphs are provided for illustrative purposes only. Index and/or rate returns shown may not represent the results of the actual trading of investable assets. Certain returns shown may reflect back-tested performance. All performance presented prior to the index or rate inception date is back-tested performance. Back-tested performance is not actual performance, but is hypothetical. The back-test calculations are based on the same methodology that was in effect when the index or rate was officially launched. However, back-tested data may reflect the application of the index or rate methodology with the benefit of hindsight, and the historic calculations of an index or rate may change from month to month based on revisions to the underlying economic data used in the calculation of the index or rate.

This document may contain forward-looking assessments. These are based upon a number of assumptions concerning future conditions that ultimately may prove to be inaccurate. Such forward-looking assessments are subject to risks and uncertainties and may be affected by various factors that may cause actual results to differ materially. No member of LSEG nor their licensors assume any duty to and do not undertake to update forward-looking assessments.



**FTSE
RUSSELL**
An LSEG Business